

近畿大学・日本史の攻略

近年の出題傾向

①問題量・問題数

大問4題で解答個数は40個で定着している。

全問マークセンス法（記述なし）

②出題傾向

時代別

原始～現代まで幅広く出題。

1. 原始・古代, 2. 中世, 3. 近世, 4. 近現代 の構成

分野別

政治・経済・外交・文化と広く出題。

総合的な問題も多い。

特定のテーマで出題されていても関連する他分野の内容も問われる。

史料問題

史料問題の出題は定番となっている。

大問4題中1～2題は史料問題。

リード文に使用するものがほとんど。

小問の4者択一式で史料文を選択する問題も多い。

西暦年, 数字関連

西暦年や税率などの数字関連に関する出題も目立つ。

図版・地図

タイムリーに出題されているので注意が必要。

③難易度

山川出版社の「詳説日本史B」などの教科書を参考に作成されているようであるが、欄外注の内容など詳細なものも含まれ、文章の4者択一式の問題には難問も含まれている。これらの問題をどれだけ正答に導けるかが勝負どころである。総じて言えば、基礎的内容で構成され、全問マークセンスとはいえ、問題は易しいとはいえない。

④対策学習法

教科書の熟読

出題のほとんどは教科書の内容からである。

教科書の徹底整理（欄外注なども含め）。

「日本史B用語集」（山川出版）なども利用し知識を深めておこう。

史料問題対策

教科書学習と並行して「史料集」（学校で使用しているものでよい）を活用する。

史料文に慣れておくことが肝要。

問題集に取り組もう

教科書学習をすすめながら、知識の定着を確認するために必ず問題集に取り組もう、学校などで使用しているものでよいので、きっちりと取り組むことが肝要である。また、これからは過去問に取り組み自ら傾向を探り本学の問題に慣れておくことも大切である。

※近大の印象・概評〔史料問題に注意せよ〕

本学の全体的な特徴は、問題文はテーマで構成されているが、設問は他の分野にも広く及んでおり、**総合的知識**が試されている。ある事件が起った年と同年の出来事を選ぶものなど、歴史を総合的にとらえていないと解答できないものが多い。よって、歴史の縦の流れだけではなく、**政治・経済・外交・文化など、横のつながりにも注意しながら学習**することを心掛けてほしい。史料問題も頻出で、史料をリード文にしたものや、設問で該当する史料文を選ぶ問題などがある。これから入試に向けて史料集などを利用し、史料に馴染んでおくことが肝要である。なお、文化史をテーマにした問題は政治史や外交史にからめて出題されているので注意してほしい。図版を使用した問題も見られるので、図説などを利用して仏像・寺院・絵画などの写真は確認しておくこと。また、地図を使用した出題例もあるので、常に図説なども見て学習してほしい。最後に**現代史（戦後史）**は浪人生と現役生の得点差が大きく開く時代である。現役生の受験生は学習が間に合わなかったということがないように学習に取りかかろう。

1. 近畿大学・日本史の出題例

[2013年2月11日実施分I] 一解答はP6

次のA～Dの文を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

- A 北条時頼は、御家人たちの所領に関わる訴訟に対応するため、を設置した。一方では、元年、有力御家人の^(a)三浦泰村を滅ぼし、北条氏の地位の強化をはかった。
- B 北条貞時は、内管領のを滅ぼして幕府の実権を握り、得宗専制政治を行うようになった。一方では、^(b)の徳政令を発令し、窮乏した御家人たちを救おうとした。
- C 北条泰時は、式目カ条を制定し、御家人たちに示した。これは武家の最初の整った法典だが、朝廷の支配下にあるところでは、^(c)公家法が効力を持っていた。
- D 北条時宗は、の朝貢の要求を退けたため、の役が勃発した。この時は、暴風雨のため軍は撤退したが、その後、幕府は^(d)異国警固番役を整備・強化した。

問1 空欄に入れる役職名として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 連署 ② 評定 ③ 引付 ④ 執権

問2 空欄に入れる人名として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 平重盛 ② 平頼綱 ③ 平重衡 ④ 平忠盛

問3 空欄に入れる数字として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 50 ② 51 ③ 52 ④ 53

問4 空欄に入れる王朝名として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 明 ② 宋 ③ 金 ④ 元

問5 空欄 に入れる年号の組み合わせとして最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① ア=宝治 イ=永仁 ウ=貞永 エ=文永
② ア=永仁 イ=貞永 ウ=文永 エ=宝治
③ ア=宝治 イ=文永 ウ=貞永 エ=永仁
④ ア=文永 イ=宝治 ウ=永仁 エ=貞永

問6 下線部(a)についての文として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 皇族将軍が迎えられるようになるのはこれ以後のことである。
- ② 梶原景時が滅ぼされたのはこれ以後のことである。
- ③ 藤原将軍が迎えられるようになるのはこれ以後のことである。
- ④ 和田義盛が滅ぼされたのはこれ以後のことである。

問7 下線部(b)についての文として誤りを含んでいるものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 発布以後に御家人が所領を売買することを禁止した。
- ② 発布以前に御家人が売却した所領は、売却後20年以内であれば取り返すことができるとした。
- ③ 御家人が関わる金銭の訴訟を幕府は受け付けないこととした。
- ④ 御家人が所領を質入れすることを認めた。

問8 下線部(c)である人物についての文として適当でないものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 藤原頼経は摂関家から将軍に迎えられたため摂家将軍と呼ばれる。
- ② 関白をつとめた九条兼実が『玉葉』を記した。
- ③ 西行は歌集『山家集』を著した。
- ④ 藤原隆信・信実父子は個人の肖像を描く似絵の名手であった。

問9 下線部(d)についての文として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 最初は九州地方の御家人に課せられたが、一回目の蒙古襲来の後には非御家人にも課せられた。
- ② 九州北部と瀬戸内海沿岸諸国の防備のために編成された。
- ③ 1221年の承久の乱の後、鎮西探題と同時に設けられた。
- ④ 博多湾沿いに防塁・水城・大野城・基肄城などを築いた。

問10 A～Dの文を年代の早い順に並べた場合、最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① C→D→A→B ② A→C→D→B
- ③ C→A→D→B ④ A→D→B→C

鎌倉時代＝北条氏の執権政治のまとめ

北条時政（初代執権）

頼朝の死後（1199）→十三人の合議制

梶原景時を倒す（1200）

2代将軍頼家を伊豆の修禅寺に幽閉（1203，翌年殺害）→3代実朝を擁立

^{ひきよし}^{かざ}
比企能員を倒す（1203）

^{はたけやま}^{しげただ}
畠山重忠を倒す（1205）

北条義時（2代）一執権の地位確立

和田義盛の乱（侍所別当，1213）→義時は政所・侍所別当を兼任

3代実朝暗殺（1219）一公暁（甥）が鶴岡八幡宮で殺害

承久の乱（1221）一後鳥羽上皇（西面の武士）を破る

後鳥羽（隠岐）・土御門（土佐）・順徳（佐渡）に配流

仲恭天皇廢位→後堀河天皇を擁立

新補地頭の設置（上皇方の所領没収）

※新補率法＝11町につき1町の給田，1反につき5升の加徴米など

六波羅探題（北条泰時・時房）一朝廷監視・西国御家人統率

北条泰時（3代）一有力御家人の合議体制

連署（1225）一執権の補佐，時房を任命

評定衆（1225）一有力御家人による合議制を制度化

摂家将軍の就任（1226）一九条頼経（4代将軍）

御成敗式目（貞永式目）（1232）→武家最初の体系的法典（51カ条）

頼朝以来の先例と武家の道理（慣習）を成文化

御家人（地頭）同士や御家人（地頭）と荘園領主との紛争解決の基準

守護・地頭の職務などを規定

北条時頼（5代）

宝治合戦（1247）一三浦泰村一族を滅ぼす

引付衆の設置（1249）一裁判の公正・迅速化

皇族将軍の擁立（1252）一宗尊親王（後嵯峨天皇の皇子）

※摂家将軍（九条頼嗣＝5代将軍）は廢位

寄合（執権の自宅で開かれる非公式会議）→北条氏の独裁強まる

[2013年2月11日実施分I] 解答

問1 ③ 問2 ② 問3 ② 問4 ④ 問5 ①
問6 ① 問7 ④ 問8 ③ 問9 ① 問10 ③

北条時宗（8代執権）

蒙古襲来（元寇）—異国警固番役を設置し来襲に備える

- 文永の役（1274年）＝元・高麗軍
- 石塁の構築・異国警固番役の強化 ※非御家人（九州）をも動員
- 弘安の役（1281年）＝東路軍（元・高麗）・江南軍（南宋）

※御家人の奮戦（『蒙古襲来絵巻』＝竹崎季長）

北条貞時（9代） ※鎮西探題（1293）の設置

得宗家（北条氏惣領）の専制体制

御家人と内管領・御内人（得宗家の家来）との対立

霜月騒動（1285）—内管領平頼綱が有力御家人安達泰盛を倒す

平禅門の乱（1293）—前内管領平頼綱を滅ぼす

永仁の徳政令（1297年）→御家人救済が目的、効果はあがらず

- 御家人の所領の質入れ・売買禁止
- 御家人に売却した所領は、売却後 20 年未満なら無償で返還
- 非御家人・凡下（庶民）に売却した所領は年限に関係なく無償で返還
- 御家人に関する金銭訴訟は受け付けない
- 越訴（再審請求）の禁止

北条高時（元 14代執権、最後の得宗）＝内管領・長崎高資の専横

倒された有力御家人	得宗	主な事件・政策
1203年 比企能員	①北条時政	
1213年 和田義盛	②北条義時	承久の乱 → 新補地頭
	③北条泰時	貞永式目
1247年 宝治合戦	⑤北条時頼	引付衆
※三浦泰村	⑧北条時宗	元寇 → 恩賞なし → 御家人窮乏
1285年 霜月騒動	⑨北条貞時	永仁の徳政令 → 御家人救済失敗
※安達泰盛	⑭北条高時	滅亡

2. 戦後史は得点源（早めに学習しておこう）

〔2011年2月11日実施分Ⅳ〕一解答はP10

次の文を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

(a)1964年に成立した(b)佐藤栄作内閣は、(c)経済成長の順調な持続にも支えられて7年半以上におよぶ長期政権となった。佐藤内閣は非核三原則を明確にして外交交渉を進め、(d)1968年に小笠原諸島の返還を実現し、1971年に沖縄返還協定に調印した。

1972年に(e)田中角栄内閣が成立すると、同年9月、田中首相自身が訪中して日中共同声明を発表し、日中国交正常化を実現した。(f)1973年には円が変動為替相場制に移行し、また石油危機(第一次)が起こった。1974年末には田中首相の政治資金調達をめぐる疑惑が明るみに出て、内閣は総辞職し、三木武夫内閣が成立した。与党内で派閥抗争が激化するなかでおこなわれた1976年の総選挙では、(g)自由民主党が結党以来はじめて衆議院の過半数を割り込み、責任をとって辞職した三木に代わり、福田赳夫が首相に就任した。

福田内閣は、内需拡大をかかげて貿易黒字問題、円高不況に対処し、1978年には(1)の締結を果たしたが、福田首相が自民党総裁選挙に敗れて大平正芳内閣に交代した。1980年、選挙運動のさなかに大平首相が急死したが、直後の衆参同日選挙で自民党は安定多数を回復し、鈴木善幸内閣が成立した。

1982年に登場した中曽根康弘内閣は、財政再建のための大型間接税の導入を果たせず、1987年に退陣した。大型間接税は続く(2)内閣のもとで消費税として実現し、1989年度から実施された。

問1 (1)に入れる語句として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 日米安全保障条約
- ② 日ソ共同宣言
- ③ 日韓基本条約
- ④ 日中平和友好条約

問2 (2)に入れる人名として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 宇野宗佑
- ② 海部俊樹
- ③ 宮沢喜一
- ④ 竹下登

問3 下線部(a)に起きたできごととして最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 東海道新幹線が開通した。
- ② 日本万国博覧会が開催された。
- ③ テレビ本放送が開始された。
- ④ 東名高速道路が全線開通した。

問4 下線部(b)のときに制定された法律として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 教育基本法
- ② 文化財保護法
- ③ 農業基本法
- ④ 公害対策基本法

問5 下線部(c)に関連して、高度経済成長期における景気上昇局面のうち、最も早いものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 岩戸景気
- ② オリンピック景気
- ③ 神武景気
- ④ いざなぎ景気

問6 下線部(d)における資本主義諸国での日本の国民総生産(GNP)の順位として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 2位
- ② 3位
- ③ 4位
- ④ 5位

問7 下線部(e)が逮捕されるきっかけとなった汚職事件として最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 昭和電工事件
- ② 造船疑獄事件
- ③ ロッキード事件
- ④ リクルート事件

問8 同じく下線部(e)の内閣による政策についての文として、最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 資材と資金を石炭・鉄鋼などの重要産業部門に集中させる傾斜生産方式を採用した。
- ② インフレーションの抑制を目指し、経済安定九原則の実施に着手した。
- ③ 「所得倍増」をスローガンに、すでにはじまっていた高度経済成長をさらに促進する経済政策を展開した。
- ④ 太平洋ベルト地帯に集中した産業を全国の地方都市に分散させて、それらを新幹線と高速道路で結ぶという「列島改造」政策をうちだした。

問9 下線部(f)の直前における円の為替レートとして最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 1ドル=123円
- ② 1ドル=260円
- ③ 1ドル=308円
- ④ 1ドル=360円

問10 下線部(g)に関連して、1955年に保守合同をおこなった政党名の組み合わせとして最も適当なものはどれか。次の①～④のうち一つをマークせよ。

- ① 自由党・日本民主党
- ② 自由党・民主社会党
- ③ 自由党・民主自由党
- ④ 自由党・日本進歩党

1960年代～戦後史

吉田茂内閣（第3次）〔自由党〕

サンフランシスコ平和条約（1951）→1952年発効

日米安全保障条約（1951）－不平等

造船疑獄事件（1954）→第5次吉田茂内閣総辞職

鳩山一郎内閣〔自由民主党〕 ※神武景気（「もはや戦後ではない」1956）

自由民主党＝自由党と日本民主党が合同（保守合同 1955）

日ソ共同宣言（1956）・国際連合に加盟（1956）

石橋湛山内閣（1956, 12～57, 2）〔自由民主党〕

岸信介内閣（1957, 2～60, 7）〔自由民主党〕 ※岩戸景気

日米相互協力及び安全保障条約（新安保条約）調印（1960）－対等

池田勇人内閣（1960, 7～64, 11）〔自由民主党〕 ※岩戸景気

所得倍増（1960）→高度経済成長

開放経済体制への移行（貿易・資本の自由化）※OECD加盟（1964）

東京オリンピック・東海道新幹線開通（1964）

佐藤栄作内閣（1964, 11～72, 7）〔自由民主党〕

※親米外交 ※ベトナム戦争 ※いざなぎ景気

日韓基本条約 → ^{パクチョンヒ}朴正熙 大統領（1965）

小笠原諸島の返還（1968）※GNP資本主義国第2位

日米共同声明（1969）－ニクソン大統領 安保体制堅持・自衛力漸増

安保自動延長（1970）

沖縄返還協定（1971）→本土復帰（1972, 5）初代知事・^{やらちようびょう}屋良朝苗

田中角栄内閣（1972, 7～74, 12）〔自由民主党〕

日中共同声明（1972）

中華人民共和国（周恩来首相）と国交正常化

「日本列島改造論」→地価騰貴

第1次オイルショック→「狂乱物価」

金脈問題を暴露されて退陣

三木武夫内閣（1974, 12～76, 12）〔自由民主党〕

ロッキード事件の糾明（1976, 田中角栄前首相の逮捕）

福田^{たけお}赳夫内閣（1976, 12～78, 12）〔自由民主党〕

日中平和友好条約（1978）

大平正芳内閣（1978, 12～80, 7）〔自由民主党〕

第2次オイルショック（1979, イラン革命の影響）に対処

元号法（1979）

衆参同時選挙→大平首相の急死→自民党圧勝

鈴木善幸 内閣(1980, 7～82, 11) [自由民主党]

第2次臨時行政調査会(臨調)の発足(1981)→「増税なき財政再建」

中曽根康弘 内閣(1982, 11～1987, 11) [自由民主党]

分割民営化

日本国有鉄道→JR(1987)

男女雇用機会均等法(1985)

臨時教育審議会を設置(1984)

竹下登 内閣(1987, 11～1989, 6) [自由民主党]

消費税(3%, 1989)

昭和天皇死去→「平成」と改元(1989, 1)

リクルート事件→総辞職

[2011年2月11日実施分Ⅳ] 解答

問1	④	問2	④	問3	①	問4	④	問5	③
問6	①	問7	③	問8	④	問9	③	問10	①

史料対策

①重要史料は『史料集』で確認しておこう。

頻出・史料（文化史は除く）を攻略しよう。

原始・古代（～平安）	中世（鎌倉～戦国）	近世（織豊～江戸）
弥生時代 漢書地理志 後漢書東夷伝 魏志倭人伝 古墳時代 好太王碑文 宋書倭国伝 稻荷山古墳鉄剣銘 磐井の乱（日本書紀） 飛鳥時代 憲法十七条 遣隋使（隋書倭国伝） 改新の詔 奈良時代 三世一身の法 墾田永年私財法 加墾禁止令 平安時代 徳政相論 遣唐使廃止 道長の栄華（小右記） 尾張国郡司百姓等解文 鹿子木荘（寄進地系荘園） 延久の荘園整理令（愚管抄） 院政（神皇正統記） 平氏の繁栄（平家物語）	鎌倉時代 守護・地頭（吾妻鏡） 式目制定の趣旨 御成敗式目 阿氏河荘民の訴状 蒙古の牒状（国書） 永仁の徳政令 建武の新政 建武の新政（梅松論） 二条河原の落書 室町時代 建武式目 半済令（1352年） 義満の国書（善隣国宝記） 正長の土一揆 播磨の土一揆 嘉吉の土一揆 山城の国一揆 加賀の一向一揆 撰銭令 戦国時代 分国法 ※朝倉孝景条々 今川仮名目録 甲州法度之次第	織豊政権 楽市令 検地関連の史料 刀狩令 バテレン追放令 江戸時代 武家諸法度（元和令） 武家諸法度（寛永令） 禁中並公家諸法度 田畑永代売買の禁令 分地制限令（1673） 糸割符制度 鎖国令 ※1633・35・39年 海舶互市新例 上米の制 相对済し令 足高の制 棄捐令 寛政異学の禁 異国船打払令 天保の薪水給与令 人返しの法 株仲間の解散 上知令 オランダ国王の開国勸告 日米和親条約 日米修好通商条約 五品江戸廻送令 王政復古の大号令

明治時代	大正時代	昭和時代
五箇条の御誓文 五榜の掲示 政体書 廃藩置県の詔 徴兵告諭 地租改正条例 日朝修好条規 民撰議院設立建白書 国会開設の勅諭 保安条例 大日本帝国憲法 黒田清隆の超然主義演説 福沢諭吉の脱亜論 下関条約 自由党を祭る文 ポーツマス条約 第2次日韓協約 韓国併合条約 日本之下層社会	尾崎行雄の議会演説 二十一カ条の要求 青鞆社の宣言 吉野作造の民本主義 治安維持法	金融恐慌の伊東巳代治の演説 国際連盟脱退通告 天皇機関説問題（美濃部達吉の弁明） 国民政府を対手とせず声明 国家総動員法 日独伊三国軍事同盟 ポツダム宣言 サンフランシスコ平和条約 日ソ共同宣言 所得倍增計画

以上の史料は必ず「史料集」で確認し、精読しておくこと。

a. 史料集の活用（学校で配布されたものでよい）

例・「時代をとらえる新日本史史料集」（桐原書店）などを利用し、教科書学習と同時に並行して取り組もう。後から史料だけ学習する方法は避けたほうがよいであろう。

b. 問題集の活用

例・「大学受験・集中ゼミ・管野の日本史必出史料」（文英堂），「日本史史料問題一問一答一完全版」（東進ブックス）など自分で取り組みやすいと思われる問題集で、学んだ内容を確認しよう。

3. 近年の出題事項 (2010～2013 年)

2010 年度 出題内容

1 月 30 日

1. 律令国家の建設と律令制度
2. 鎌倉新仏教 (史料・『歎異抄』『立正安国論』『正法眼蔵随聞記』)
3. 近世のオランダ関係史 (鎖国や蘭学など)
4. 近現代の政党史 (設問に史料あり = 『自由党を祭る文』)

1 月 31 日

1. 奈良～平安初期の動向 (史料・『徳政相論』など)
2. 中世の産業・経済
3. 幕末の動向
4. 金解禁 (昭和初期の情勢)

2 月 11 日

1. 鎌倉～室町時代の政治
2. 民権運動 (史料・『民撰議院設立建白書』)
3. 戦時下の情勢 (設問に史料あり)
4. 戦後の民主化～独立までの動向

2 月 12 日

1. 鎌倉～室町前半までの政治情勢 (史料・『梅松論』など)
2. 近世の交通 (陸運・水運)
3. 明治時代の貨幣・金融政策
4. 1960 年以後の政治・外交・経済

2 月 13 日

1. 奈良時代の政治と文化
2. 平氏政権 (史料・『平家物語』, 図版 = 『平家納経』)
3. 江戸時代の朝幕関係 (設問に史料文の選択あり)
4. 財閥の歴史 (設問に史料文の選択あり)

2 月 14 日

1. 原始～古代の外交の推移 (年表)
2. 鎌倉～室町初期の政治動向 (史料・『建武式目』)
3. 寛永～元禄文化の芸術 (図版・野々村仁清の陶磁器を選ぶ)
4. A 級戦犯に関連する問題

3月8日

1. 飛鳥時代～平安初期の政治動向
2. 平安～室町時代の仏教史（設問に史料文の選択あり）
3. 徳川秀忠・家光・家綱の政治
4. 幕末～近代の科学（図版・反射炉）

3月9日

1. 奈良時代の文化
2. 世阿弥の一生（室町時代の動向，設問に史料文の選択あり）
3. 江戸時代の経済（史料・『政談』『日本永代蔵』）
4. 高橋是清・石橋湛山・福田赳夫の業績（設問に史料文の選択あり）

2011年度 出題内容

1月29日

1. 律令制度（史料・『令義解』）
2. 世界遺産
3. 新井白石の生涯（文治政治の動向）
4. 幕末～民権運動（設問に史料あり＝『日露和親条約』）

1月30日

1. 仏教公伝～奈良仏教（史料・『上宮聖徳法王帝説』『法隆寺金堂薬師如来光背銘』など）
2. 鎌倉後半～南北朝合一までの動向（年表）
3. 近松門左衛門・鶴屋南北・河竹黙阿弥らの業績（設問に史料文の選択あり）
4. 戦後恐慌～金融恐慌

2月11日

1. 武家政権の成立（保元の乱～承久の乱）
2. 大田南畝の生涯（寛政改革前後の情勢）
3. 幕末の藩政改革（設問に史料あり）
4. 佐藤栄作内閣～竹下登内閣までの政治・外交・経済

2月12日

1. 室町時代の産業・経済
2. 江戸時代の学問
3. 金融恐慌（史料・『伊東巳代治の演説』）
4. 近現代の科学（医学・化学・物理／ノーベル賞など）

2月13日

1. 古代の政治（大化改新～後三条天皇の親政）
2. 山城の国一揆・応仁の乱・足輕の狼藉（史料・『大乘院寺社雜事記』『応仁記』など）
3. 豊臣秀吉～江戸時代の動向（年表）
4. 昭和の中国侵略

2月14日

1. 奈良～平安前期の政治動向（設問に史料文の選択あり）
2. 鎌倉～織田信長までの政治動向
3. 江戸時代の産業
4. 明六社の重要人物（福沢諭吉・森有礼ら，設問に史料文の選択あり）

3月8日

1. 原始～奈良時代の文化（設問に史料文の選択あり）
2. 鎌倉時代前期の政治（史料・『沙汰未練書』，設問に史料文の選択あり）
3. 江戸時代の文化史上の重要人物とロシア人の接近
4. 大正時代の社会運動（設問に史料文の選択あり）

3月9日

1. 藤原北家の台頭（平安時代前期の政治）
2. 室町時代～戦国時代（史料・「室町後半の動向」，設問に史料文の選択あり）
3. 近世の朱子学（設問に史料文の選択あり）
4. 明治時代の政治（設問に史料文の選択あり＝保安条例）

2012年度 出題内容

1月28日

1. 国宝の歴史
2. 戦国～織田信長
3. 朱印船貿易・鎖国令（史料・『寛永10年の鎖国令』など）
4. 大戦景気

1月29日

1. 7～10世紀の政治・外交（史料・『意見封事十二箇条』）
2. 鎌倉仏教
3. 近世の蘭学
4. 殖産興業

2月11日

1. 平氏と源氏（平治の乱～壇ノ浦の戦い）
2. 江戸時代後期の動向（設問に史料文の選択あり）
3. 明治期の文学
4. 戦後の外交（史料・新安保条約, ヤルタ協定, サンフランシスコ平和条約, 日中共同声明）

2月12日

1. 室町時代の外交
2. 江戸時代の浮世絵（設問に史料文の選択あり）
3. 条約改正（史料・『榎本武揚外相の意見書』）
4. 戦後の外交・経済

2月13日

1. 古代の歴史書（『古事記』 & 六国史）
2. 鎌倉時代の経済（史料・「二毛作の普及」・『庭訓往来』）
3. 徳川家康～家光の時代（幕藩体制の確立期）
4. 近代の雑題（政治・外交など）

2月14日

1. 奈良～平安前期の政治家（政治・文化）
2. 永仁の徳政令（鎌倉時代の政治など, 史料・「永仁の徳政令」）
3. 江戸時代の交通
4. 条約改正（設問に史料文の選択あり）

3月8日

1. 原始～7世紀までの日中・日朝関係
2. 中世の文化（絵画の図版選択あり）
3. 近世の外交・史料（『糸割符制度』『海舶互市新例』）
4. 近代の日朝関係（設問に史料文あり※第二次日韓協約&韓国併合条約）

3月9日

1. 律令制度・史料（「運脚」「浮浪・逃亡」＝『続日本紀』）
2. 室町幕府の成立
3. 近世の経済・流通
4. 明治時代の宗教（教派神道・キリスト教・教育関連など）

2013年度 出題内容

1月26日

1. 律令制度（史料・『弘仁格式』序文）
2. 鎌倉時代の社会・経済・文化（図版『一遍上人絵伝』）
3. 近世封建社会の確立
4. 立憲体制の構築

1月27日

1. 原始～平安末期の東北地方
2. 室町時代の政治・社会（史料・『応仁記』）
3. 近世の政治（正徳～田沼政治 設問に史料文「公事方御定書」あり）
4. 近代の革新団体（社会主義など）

2月11日

1. 執権政治の推移
2. 江戸時代の将軍（年表形式）
3. 桂園時代
4. 戦後の内閣

2月12日

1. 室町時代の関東（鎌倉府の推移）
2. 近世初期の外交（年表形式）
3. 明治時代の政治（史料・『自由党を祭る文』）
4. 占領政策～独立

2月13日

1. 8～10世紀の政治
2. 中世の政治・社会・経済（絵巻物の歴史）
3. 幕末の外交・政治（史料・「天保の薪水給与令」「大政奉還」「王政復古の头号令」）
4. 大正時代の外交・社会（設問に史料文「青鞞」の女性解放宣言）

3月8日

1. 倭王武の朝貢と遣隋使（史料・「倭王武の上表文」「遣隋使」）
2. 中世の文化（図版・琵琶法師）
3. 近世の為政者と儒学者
4. 日清・日露戦争前後の内外情勢（設問に史料文「下関条約」）

3月9日

1. 7～9世紀の政治（設問に史料文「改新の詔」）
2. 源平争乱と鎌倉幕府の成立
3. 鎖国の道程（史料・「寛永十二・十三・十六年の鎖国令」）
4. 太平洋戦争前後の内閣（設問に史料文「ポツダム宣言」「近衛声明」）